その1（1〜8問）

お名前

春のことわざ 穴うめ

問題

□に入ることばを、ひらがなで書きましょう。
1マスに1文字。下の文が、ことわざの意味です。

① 花より□□□
見て楽しむより、実際に役立つものを取ること

② 春に三日の□□なし
春の天気は変わりやすく、よい天気が続かないこと

③ 暑さ寒さも□□□まで
春分・秋分のころを過ぎると、暑さも寒さもやわらぐこと

④ 梅に□□□□
よく似合う、取り合わせのよいもののたとえ

⑤ 春眠□□□□を覚えず
春の夜は心地よく、朝になっても目が覚めにくいこと

⑥ 三日見ぬ間の□□□
世の中の移り変わりが、とても早いこと

⑦ 蒔かぬ□□は生えぬ
何もしなければ、よい結果は得られないこと

⑧ 花は桜木、人は□□
花の中では桜、人の中では侍がいちばんすぐれていること

その1（1〜8問）

お名前

春のことわざ 穴うめ

答え

□に入ることばを、ひらがなで書きましょう。
1マスに1文字。下の文が、ことわざの意味です。

① 花より だんご
見て楽しむより、実際に役立つものを取ること（花より団子）

② 春に三日の はれ なし
春の天気は変わりやすく、よい天気が続かないこと（晴れ）

③ 暑さ寒さも ひがん まで
春分・秋分のころを過ぎると、暑さも寒さもやわらぐこと（彼岸）

④ 梅に うぐいす
よく似合う、取り合わせのよいもののたとえ（梅に鶯）

⑤ 春眠 あかつき を覚えず
春の夜は心地よく、朝になっても目が覚めにくいこと（春眠暁を覚えず）

⑥ 三日見ぬ間の さくら
世の中の移り変わりが、とても早いこと（三日見ぬ間の桜）

⑦ 蒔かぬ たね は生えぬ
何もしなければ、よい結果は得られないこと（蒔かぬ種は生えぬ）

⑧ 花は桜木、人は ぶし
花の中では桜、人の中では侍がいちばんすぐれていること（武士）

お名前

春のことわざ 穴うめ

問題

□に入ることばを、ひらがなで書きましょう。
1マスに1文字。下の文が、ことわざの意味です。

⑨ 桜切る馬鹿、□□切らぬ馬鹿

木によって、手入れの仕方がちがうという教え

⑩ 花に□□□

よいことには、じゃまが入りやすいこと

⑪ 柳に□□

逆らわずに、上手に受け流すこと

⑫ 春の夜の□□

はかなく、短いもののたとえ

⑬ 柳の下にいつも□□□□はいない

一度うまくいっても、また同じ幸運があるとは限らない

⑭ 桃栗三年、□□八年

何ごとも、実を結ぶまでには年月がかかること

⑮ 立てば芍薬、座れば□□□

美しい女の人の姿や立ち居ふるまいのたとえ

⑯ 春宵一刻□□□□□□□

春の夜は趣があり、ひとときがとても貴重なこと

お名前

春のことわざ 穴うめ

答え

□に入ることばを、ひらがなで書きましょう。
1マスに1文字。下の文が、ことわざの意味です。

⑨ 桜切る馬鹿、 う め 切らぬ馬鹿

木によって、手入れの仕方がちがうという教え（梅）

⑩ 花に あ ら し

よいことには、じゃまが入りやすいこと（花に嵐）

⑪ 柳に か ぜ

逆らわずに、上手に受け流すこと（柳に風）

⑫ 春の夜の ゆ め

はかなく、短いもののたとえ（春の夜の夢）

⑬ 柳の下にいつも ど じ ょ う はいない

一度うまくいっても、また同じ幸運があるとは限らない（泥鰌）

⑭ 桃栗三年、 か き 八年

何ごとも、実を結ぶまでには年月がかかること（桃栗三年、柿八年）

⑮ 立てば芍薬、座れば ぼ た ん

美しい女の人の姿や立ち居ふるまいのたとえ（立てば芍薬、座れば牡丹）

⑯ 春宵一刻 あ た い せ ん き ん

春の夜は趣があり、ひとときがとても貴重なこと（春宵一刻値千金）